



# ふくしま教育ニュース

2021年7月 第56号 編集・発行 福島県教育委員会



令和4年度県立高等学校入学生より

## 個人所有端末による生徒1人1台端末環境を実現します

小・中学校で児童生徒1人1台端末環境が実現し、さらに全ての県立学校に校内Wi-Fiが整備されたことに伴い、令和4年度県立高等学校入学生から年次進行で、生徒1人1台端末環境を個人所有のキーボード付き端末の導入により実現します。

使用端末については、家庭ですでに所有しているもの、または新たに購入するものとしますが、いずれの場合も各家庭において準備していただくことになります。

なお、新たに購入する場合は、一定の所得までの世帯に対し県費による補助を行います。



1人1台タブレットを活用した2学年地域探究学習の発表会(磐城高校)

### ねらい

これまでの学校教育(主体的・対話的で深い学び)とICTのベストミックスにより「学びの変革」を図り、生徒及び教師の力を最大限に引き出します。

主体的・対話的で深い学び



ICT(1人1台端末等)

### 学びの変革

- 生徒一人一人の特性や興味関心、視点を生かした「個別最適化された学び」
- 一人一人の違い、多様性を生かした「協働的な学び」
- 新たな価値を創造する「探究的な学び」

### 個人所有端末による導入のメリット

- ✓ 学校でも家庭でも文房具として活用できます。
- ✓ 十分な機能を備えた新品の端末を使用できます。
- ✓ 卒業後も継続して使用できます。

### 補助対象家庭と補助上限額

| 対象家庭                         | 生徒1人当たりの補助上限額 |
|------------------------------|---------------|
| 非課税世帯・生活保護世帯(*)              | 45,000円       |
| *以外の世帯のうち年間世帯所得金額が620万円以下の世帯 | 20,000円       |

※国の示す推奨モデル45,000円を踏まえて決定

### 購入及び補助手続き等

- 購入及び補助の事務手続きについては、令和4年3月の各高等学校における新入生オリエンテーションで詳細を説明します。
- 推奨モデルを設定するなど、機種選定に係る保護者の負担軽減を図ります。
- 補助に当たっては、生計を同じくしている世帯人員の所得を証明する書類が必要となります。

※県立特別支援学校高等部においても、1人1台端末環境の実現に向け、準備を進めています。



## 「ふくしま創生サミット」を開催しました

4月27日(火)に「ふくしま創生サミット」を福島県自治会館で開催しました。昨年までは方部ごとに行いましたが、生徒たちの視野をより広げるために初めて全県一堂に会しての開催となり、県立高校78校から代表生徒各1人が参加し、自分たちが暮らす地域についての理解を深めました。

午前中は、複数のグループに分かれ、各校が取り組んだ地域課題探究活動の共有を図りました。午後からは、地区ごとに地域課題の解決に向けて、高校生の視点で地方創生・活性化に向けた「宣言」を作成し、全体の前で発表しました。協議の中で活発に意見を交わす様子が見られ、多様な視点からの質疑応答も行われました。

他校の探究活動や地域の現状を知るとともに、話し合いを通して学科や地域を越えて自分とは異なる視点や考え方に触れることができ、自校での今後の取組に活かしたいという感想が出されました。地域の課題を再発見し、解決に向けて他者と連携・協働しながら主体的に考えて行動できる力を育む各校の取組にこれからも期待します。

